

<スタディツアー・海外研修事業> 「理想の地域をともに考え、実現していく」



ICAN マニラ事務所
May Ann Z.
Prudencio

2011 年からフィリピンで実施している名古屋国際高等学校海外研修は、この 2018 年 7 月で 8 回目を迎えました。今年の参加者 12 名は、15 日間の滞りで、フィリピンの私立、公立高校への授業参加、パヤタスのごみ処分場への訪問、路上の子どもたちとの交流、田舎でのホームステイや田舎体験、在マニラの日系企業・社会起業家への訪問など、多くのプログラムに参加しました。

この研修のメインイベントは、マニラから南へ 3 時間ほどに位置するカビテ州で、2 泊 3 日、アイキャンの事業地であるパヤタスごみ処分場や路上の子どもたちともに行う合宿、「Youth Congress」です。初めて参加者同士が研修会場で会ったときは、お互いが言葉の壁を乗り越えて仲良くなれるか、人前でしっかりと発表することができるか等の不安を抱いていました。しかし、自分と家族のことをグループで発表をするワークショップを通して、参加者同士の距離はまたたく間に縮まりました。フィリピンの子どもたちは、「私の父は刑務所にいる。」「一番下の妹は病気で亡くなってしまった。」など、それぞれの事情を打ち明けてくれました。それに対し日本からの参加者が彼らを抱きしめ、肩をさするなど、励ます様子が見られました。

合宿内最後のワークショップは、グループごとに理想の地域とは何かを話しあい、それを絵で表すというものでした。参加者は、自分たちが住んでいるフィリピンと日本の地域の良い所、悪い所、どうすればより良い地域になるか、などを話し合いました。完成した

理想の地域には、「みんなが愛情を持っていて、平和な地域」、「学校、病院、市場があり、様々な宗教が共存している地域」、「夜は街灯に明かりがあり、道が綺麗で安全な街」などが出てきました。また、理想の地域を実現するために、「自分の身近な人へ感謝を伝えるようにする。」「相手との違いを受け入れ、差別をしないようにする」、「フィリピンの子どもたちが学校や病院に通えるように建築士になる」等、それぞれが決意を表明しました。

Youth Congress は、異なる背景の若者・子どもが共通のビジョンである理想の地域を描き、それを実現するための行動を促すことを目的とした研修です。私は、子どもたちが子どもらしく生活できる社会を、大学生のころから目指し、ソーシャルワーカーになりました。今回研修に参加した子どもたちも、理想の地域を実現するために、今回の決意を忘れずに、実行していってくれることを願っています。



紛争の影響を受けた子どもたち 7 月 24・30 日 / ホルホル(ジブチ)

新たな難民キャンプで「子どもの広場」の活動を開始



ソマリアやエチオピア難民が暮らすホルホル難民キャンプでの活動を開始しました。2 回の活動では、サッカーや塗り絵を行い、延べ 74 人が参加しました。最初は緊張していた子どもたちも、2 回目の活動の際は、1

回目の活動で制作した作品を大事そうに持ってスタッフへ近く場面もありました。子どもたちからは「次はいつ?」と、早くも次の活動を楽しみにする声がありました。

チャリティ 語学教室事業

7 月 5 日 / 愛知

語学とともに、社会課題を学ぶ



英語やタガログ語を学びつつ、その授業料がフィリピンやイエメン・ジブチの子どもたちを笑顔にする活動に使われる、語学教室「スマイル・チケット」で、この日も、フィリピンの状況を紹介しながら授業が行われ

ました。参加者の女性は、「自分たちが英語を学ぶことが、路上や紛争地の子どもたちの生活向上につながると思うと嬉しい」と話しました。

紛争の影響を受けた子どもたち 7 月 15 日-17 日 / ハッジャ(イエメン)

696 世帯への食糧提供を実施



イエメンの中でも深刻な食糧不足に陥っている地域の一つである西海岸のハッジャ州において、696 世帯への食糧提供を実施しました。お年寄りや女性、障がい者等の、自力で提供場所まで来られない人々には、シェルターまで届け、最も

弱い立場の人へも提供しています。10 人家族を持つハディージャさんは「食糧提供のおかげで、日々の食糧を確保することができた。」と話しました。

国際理解教育事業

7 月 14 日 / 愛知

アイキャン主催「SDGs ユースアクションプラン」がスタート



愛知県立千種高等学校の 2 名の学生が、日本事務局にて、アイキャン主催の「SDGs ユースアクションプラン」に参加しました。国連が定めた 17 の SDGs (持続可能な開発目標) から、関心のある目標をそれぞれ

選び、「物を簡単に捨てず、物を使うことに責任をとる。」「男女が平等に学べ、女性をもっと社会に出られるようにする。」と想いを込めて描いてくださいました。